

## 10. 物価

国内企業物価は、このところ緩やかに上昇している。消費者物価は、このところ下落テンポが緩やかになっている。

(前年同期(月)比、( )内は前期(月)比、< >内は季節調整済前期(月)比、%)

	2009年	2010年	2010年7-9月	10-12月	2010年11月	12月	2011年1月
国内企業物価	5.2	0.2	( 0.2 ) 0.1	( 0.3 ) 1.0	( 0.1 ) 0.9	( 0.4 ) 1.2	P ( 0.5 ) 1.6
輸出物価	10.5	2.5	( 4.8 ) 5.3	( 0.1 ) 3.2	( 1.2 ) 3.1	( 1.1 ) 2.0	P ( 0.1 ) 3.4
契約通貨入	3.3	2.3	( 0.5 ) 1.7	( 2.0 ) 3.6	( 0.8 ) 3.3	( 0.7 ) 4.2	P ( 0.7 ) 4.2
輸入物価	25.4	7.1	( 5.3 ) 3.3	( 0.6 ) 3.6	( 2.7 ) 4.3	( 3.0 ) 4.2	P ( 2.1 ) 4.7
契約通貨入	19.0	13.1	( 0.1 ) 11.3	( 3.5 ) 11.3	( 2.3 ) 11.7	( 2.4 ) 11.1	P ( 3.0 ) 14.0
企業向けサービス価格	2.7	P 1.1	( 0.6 ) 1.1	P ( 0.4 ) 1.2	( 0.0 ) 1.1	P ( 0.2 ) 1.3	
国際運輸を除くベース	1.3	P 1.3	< 0.3 > 1.1	P < 0.5 > 1.3	< 0.1 > 1.2	P < 0.1 > 1.3	
消費者物価							
総合固定基準	1.4	0.7	< 0.4 > 0.8	< 0.6 > 0.1	< 0.2 > 0.1	< 0.1 > 0.0	< 0.3 > 0.1
生鮮食品除く総合	1.3	1.0	< 0.5 > 1.0	< 0.5 > 0.5	< 0.2 > 0.5	< 0.2 > 0.4	< 0.0 > 0.4
連鎖基準	1.5	1.3	1.5	0.9	0.9	0.8	0.7
生鮮食品、石油製品及びその他特殊要因を除く総合(コアコア)	0.3	1.0	< 0.3 > 1.0	< 0.0 > 0.7	< 0.0 > 0.6	< 0.1 > 0.5	
GDPデフレーター	0.4	2.1	< 0.3 > 2.1	< 0.4 > 1.6	-	-	-

消費者物価  
(東京都区部)  
12月 1月(P)

(備考) 1. 企業物価、消費者物価、企業向けサービス価格は2005年基準、GDPデフレーターは2000年基準。Pは速報値。

2. 企業向けサービス価格の国際運輸を除くベースは、国際航空旅客輸送、定期船、不定期船、外航タンカー、外航貨物用船料、国際航空貨物輸送、国際郵便を除いたもの。

3. 消費者物価の「生鮮食品、石油製品及びその他特殊要因除く総合」は、生鮮食品除く総合から、石油製品、電気代、都市ガス代、米類、切り花、鶏卵、固定電話通信料、診療代、介護料、たばこ、公立高校授業料、私立高校授業料を除いたもの。

4. 企業向けサービス価格の国際運輸を除くベースの季節調整済前期比及び消費者物価のコアコアは、内閣府経済財政分析総括担当試算値。

